

社会資本総合整備計画（社資本）

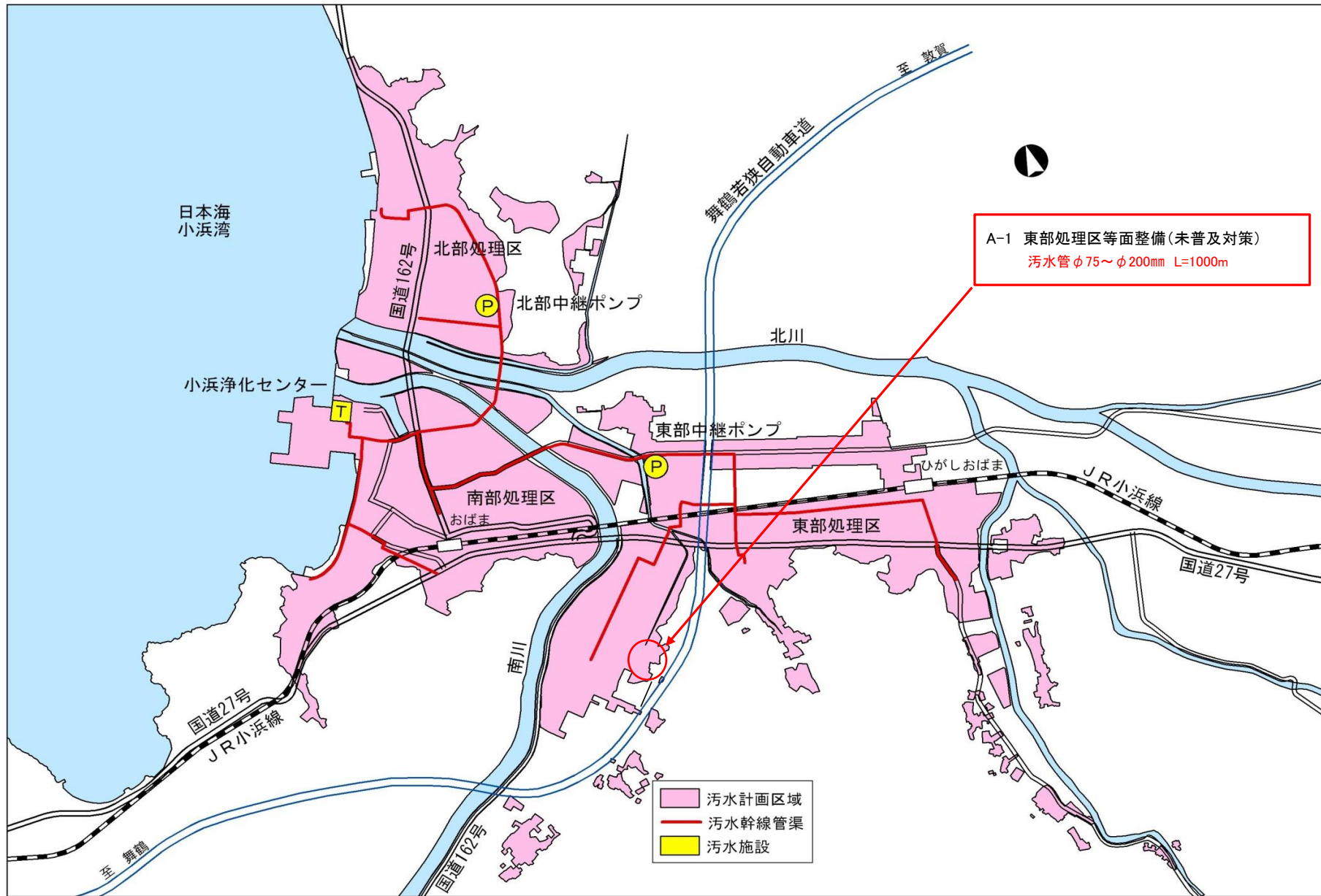
令和4年8月22日

計画の名称	「御食国若狭おばま」における良好な水環境形成（その3）							重点計画の該当	-			
計画の期間	令和3年度～令和7年度（5年間）			交付対象	小浜市							
計画の目標	「食のまちづくり」を推進する本市において、「食」の根源は水であることから、公共下水道を効率的に整備し水質保全を図り、「食」を育んだ水・森・川・海・田畑や豊かな環境を守る。											
計画の目標	①下水道整備率を98.0%（R3当初）を98.4%（R7）に増加させる。											
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考					
	①下水道整備率 整備済面積(ha)／事業認可区域面積(748ha)			当初現況値 (R3当初)	中間目標値 (R5末)	最終目標値 (R7末)						
				98.0%	98.2%	98.4%						
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	50 百万円	A	50 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0 %

交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況
											R03	R04	R05	R06	R07		
A-1	下水道	一般	小浜市	直接	小浜市	管渠 (汚水)	新設	東部処理区等面整備（未普及対策）	汚水管φ75～φ200mm L=1,000m	小浜市						50	-
合計											50						
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況
											R03	R04	R05	R06	R07		
合計											0						
C 効果促進事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況
											R03	R04	R05	R06	R07		
合計											0						
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況
											R03	R04	R05	R06	R07		
合計											0						

計画の名称	「御食国若狭おばま」における良好な水環境形成（その3）		
計画の期間	令和3年度～令和7年度（5年間）	交付対象	小浜市

「御食国若狭おばま」における良好な水環境形成（その3）



- 凡例
- 下水道整備計画区域(補助)
 - - - 下水道整備計画区域(単独)
 - 雨水渠整備計画箇所
 - 耐水計画
 - 内水ハザードマップ作成

- 汚水計画区域
- 汚水幹線管渠
- 汚水施設

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	R3	R4	R5	R6	R7	
配分額 (a)	5.00					
計画別流用 増△減額 (b)	0.00					
交付額 (c=a+b)	5.00					
前年度からの繰越額 (d)	0.00					
支払済額 (e)	5.00					
翌年度繰越額 (f)	0.00					
うち未契約繰越額 (g)	0.00					
不用額 (h = c+d-e-f)	0.00					
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%					
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由	-	-	-	-		

※ 交付金執行状況は、決算額が確定でき次第記載。

※ 交付金執行状況の額は、国費ベース。

事前評価チェックシート

計画の名称：「御食国若狭おばま」における良好な水環境形成（その3）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 公共下水道事業計画との適合等 1) 下水道事業の目標が公共下水道事業計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 公共下水道事業計画との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて下水道事業の目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) 下水道事業の必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) 下水道事業に向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的な下水道事業の展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○